

## 誌上行学講習会

高佐日煌上人

万行く相もますがるコ念るをよ心り病くな心だ方と餓  
 円戦く、手ひさ。あとツ餓心、たう理ま餓的欲餓けの欲はよ鬼  
 預前にもありますがる。力をつれそりい、鬼とためな。で鬼なを鬼れ方の普く心  
 金」というました。注。高柳集め名いを賣りが、これは「  
 ラ信かるんまうど心言くてつそあ心極は心ばは度通似の修羅  
 ク用か。なし心うのうわそつれつの端るの損いがのて修羅心。  
 りさるだ馬た理す声のえれまかて天なこ人だつき欲い心。  
 はせ方ま鹿。でれ聞てるをしら、上欲と間とのつてある。  
 発するですな毎あば心あこ樂い金す心を心い場いあの  
 見。す方こ月り金はりとし生をるはあ当然こ心でめなされ  
 さし。もと三まが欲まをむ活一い欲た然こ心でめなされ  
 れか最だが割すた行す快、を錢心行りだれをもにらがは  
 るし初まあづ。ま知。樂金しもを快まとは言争鬪ば、欲  
 無のするつかる法とをて使起念へ考欲うつ争鬪や行  
 そ理う方筈のつか心すつ喜わし心だえ行のてす争  
 しはちでが金てとでるかぶなて。とる当で物るにり争心  
 ていはすな利保い心う心。心う心いうこす心然心  
 行つ事がいを全うこでまれる心で心。心う心  
 きま実、払経畜れで金ひそく濟財はで食爪くに言も修羅心と同様、如  
 づで金ひそく濟財はま続利つれと会の欲られなわに言もビンから  
 らくず火をたんかります。闘つ欲す鬪争  
 倒筈払かのうい法りをた着をと喜らキ行たにもすぶ  
 れはつるにんうを方快め金すぶ  
 てなて方だでの知の

のしやてなしい落にす。い心強たけ心でう知つやうと  
 に世そ落かなとち隨いこでが欲餓、た餓理あな餓らててり肩い利  
 おのっちなけいるち分こあかな鬼何、鬼をり方鬼う金行ま書た息  
 ど中とるかれここるとまりす心のと人心言ま法心ともきしきのを  
 ろにで世落ばととこ行でまかを仏かにのうすとのすうまたを自分で  
 かはは界ちなにがとつはしに恥陀つ迷苦の。縁けしが取あ分  
 地上でなり注あもた普通れ獄つすいま思るあり通  
 ます。界てか。せず。れ來の  
 に来らよんる常ばた人落る。ほ。必識、り間  
 ちこ一ど最要あ畜すとてと度入惡がる生るこして時々  
 行がこ間のあ人道こく出この地りでにとと  
 人来に道獄まももががまおを界すお、あとい  
 意せり踏。ち餓る。う外んるみこ深入鬼。う  
 に。とはこくり道修より多し一すに警やに羅り  
 いか寸しは戒すも道も